

- 2017年度の主な助成金の募集（公募）
- 2016年度 NPO基盤強化資金助成 贈呈式を開催
- 2016年度 海外助成 贈呈式を開催
- 第18回損保ジャパン日本興亜福祉財団賞の贈呈式を開催
- ご報告～財団が後援した団体の取組み～

発行者 公益財団法人損保ジャパン日本興亜福祉財団

〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1 損保ジャパン日本興亜本社ビル TEL：03-3349-9570 FAX：03-5322-5257

http://www.sjnkwf.org/ Eメール：office@sjnkwf.org

2017年度
1
vol.

2017年度の主な助成金の募集（公募）

2017年度の社会福祉事業における助成金の公募を以下の通り予定しています。

※詳細は財団のホームページをご覧ください。

事業名 (募集時期／予算)	事業の内容 ※助成金額	対象となる団体
在宅で高齢者を介護する家族の研修会 資金助成 (5月15日～7月5日／総額300万円)	・認知症等の高齢者を在宅で介護する家族等を対象とした研修会等の開催費用を助成 ※1団体15万円（上限） 募集中	・活動実績1年以上の介護家族の会、介護家族等を支援するNPO法人 ・日本国内に所在する団体
自動車購入費助成 (6月1日～7月14日／総額1,000万円)	・主として障害者の福祉活動を行う団体が、自動車を購入する際の資金を助成 ※1件100万円（上限） 募集中	・特定非営利活動法人 ・主として障害者の福祉活動を行う団体 ※ただし、加齢に伴う障害者（高齢者）の福祉活動団体は除く。 ・東日本地区に所在する団体
NPO基盤強化資金助成 (9月～10月／総額2,200万円)	・「組織の強化」と「事業活動の強化」に必要な資金を助成 ※1団体50万円（上限）、20団体程度	・社会福祉に関する活動を行う特定非営利活動法人、社会福祉法人 ・西日本地区に所在する団体
	・認定NPO法人取得資金を助成 ※1団体30万円、20団体	・認定NPO法人の取得を目指す社会福祉分野の特定非営利活動法人 ・日本国内に所在する団体
	・住民参加型の福祉活動資金を助成 NEW ※1団体30万円（上限）、20団体程度	・地域における高齢者・障害者・子ども等に関する複合的な生活課題に包括的な支援活動を行なう非営利団体 ・日本国内に所在する団体
海外助成 (9月～11月／総額400万円)	・ASEAN加盟国およびインドの非営利団体が地域の社会福祉に資する活動を行うための資金を助成 ※1件100万円（上限）	・社会福祉分野で活動をする非営利団体 ・ASEAN加盟国、およびインドに本部を置く団体 ※現地駐在員の推薦が必要です。



2016年度自動車購入費助成先
NPO法人 誠桜の樹



2016年度認定NPO法人取得資金助成先
認定NPO法人 日本クリニックラウン協会

2016年度 NPO基盤強化資金助成 贈呈式を開催

損害保険ジャパン日本興亜㈱の支店のご協力で、助成金の贈呈式を開催しました。

岐阜支店



昨日、美濃加茂市のNPO法人「プラス・ワン」に損保ジャパン日本興亜財団から助成金50万円を贈呈したので、情報共有します。プラス・ワンは、障害者就労支援に積極的に取り組むNPO法人で、現在では「ふるさと納税」の返礼品にも指定された「えむちゃん餃子」の製造・販売に注力。障害者の方々が一生懸命作っています。また、それに留まらず、隣接する自動車部品工場への職業訓練を通して、障害者の一般職種への社会復帰に積極的に取り組んでいるNPOでした。素晴らしい取り組みだと感じています。

今回の助成で、「えむちゃん餃子」の情宣のための個別HPを製作し、ふるさと納税返礼品で有名になってきた餃子を宣伝されるそうです。少し経ったら、助成金で制作するHPがオープンする予定です。

〔岐阜支店 支店長 金井徳幸さん（当時）〕



障害者の就労支援施設を初めて訪問しました。自動車部品の組立作業を見学したのですが、利用者さんたちが、それぞれ自分で工夫して作業を進めていたのにとっても感心しました。助成金でHPを作成することので、非常に喜んでいただけました。



〔岐阜支店 支店長席 田中千晴さん〕

<特定非営利活動法人 プラス・ワン>

南北海道支店



<特定非営利活動法人 はあと>

岡山支店



<特定非営利活動法人 ポケットサポート>

東北海道支店



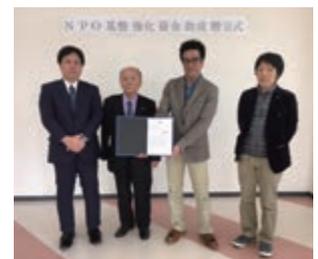
<特定非営利活動法人 遠軽町手をつなぐ育成会 かたつむりの会>

浜松支店



<特定非営利活動法人 スマイルベリー>

長崎支店



<特定非営利活動法人 昴>

栃木支店

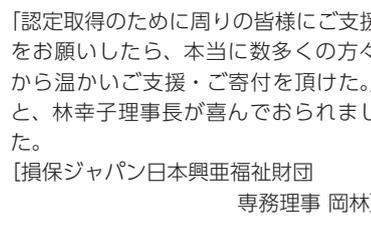


栃木市の「NPO法人蔵の街たんぼの会」は30年にわたり、障害児・者、高齢者、児童などの様々な人がお互いのハンディにかかわり無く交流し、楽しみながら自立を目指す「人と人が支えあう地域社会づくり」に貢献しています。今回、贈呈式が行われた「おもちゃの図書館」には、石河理事長の長年の活動を表す様に職員はもとより数多くの支援者・利用者が集まり、助成金の贈呈を祝いました。同理事長の人間性はとて豊かで温かく、壊れたおもちゃの修理もメーカーからの自発的協力を得るなど、幅広く支援者から支持されていることに感動しました。

〔栃木支店 支店長席 磯部吉男さん〕

<特定非営利活動法人 蔵の街たんぼの会>

兵庫支店



「認定取得のために周りの皆様にご支援をお願いしたら、本当に数多くの方々から温かいご支援・ご寄付を頂けた。」と、林幸子理事長が喜んでおられました。

〔損保ジャパン日本興亜福祉財団 専務理事 岡林〕



<特定非営利活動法人 あけび>

他にも仙台支店、福島支店、山形支店、静岡支店、名古屋支店でも助成先によって贈呈式を開催しました。

2016年度 海外助成 贈呈式を開催

助成先のマレーシア、ミャンマー、カンボジア、シンガポール、タイの5カ国で、助成金の贈呈式が開催されました。助成先団体の皆様、障害者団体など多くのご参列を得て開催され、現地の新聞などのメディアに掲載されました。

カンボジア Caring for Young Khmer (CYK)



今回の村の幼稚園はプノンペン近郊であり、小学校の一部の部屋を使わせてもらっているとのことでした。もっと遠方に行くと、まずは幼稚園の場所の問題があり、次に先生の問題、また、絵本、人形などの教材はほとんどそろっていないとのこと。今回の助成が教材購入に有効に使われることを期待します。

渡辺武さん (United Ins Co.Vietnam)

マレーシア

PERSATUAN KANAK-KANAK ISTIMEWA AMPANG (Special Children Society of Ampang)
(アンパン知的障害児デイケアセンター)



助成先は、他の知的障がい児ケアの団体の多くが政府などの寄付で運営している中、障がい児の母親達で運営している団体です。団体の就労支援センターの増築工事に際し、団体の収入の安定による財務基盤強化につながるよう、ソーラーパネルを助成しました。

贈呈式には子供たちやメディアも参加しました。

現在、建物屋上に設置された、ソーラーパネルは稼働を始め、発電状況は良好で、当初の事業計画の売電価格を上回り順調に進んでいます。また、内装工事を含む全工程の完了は7月となる見込みです。

今後も団体との持続的な関係が生まれることを期待し、コミュニケーションの継続に努めたいと思っております。

若林祐樹さん (Berjaya Sampo Insurance)



タイ DDD Foundation (Don't Drive Drunk Foundation)

助成式にはチャチュンサオ県知事、Anuban Watpitulatrangsarit School校長、数百名の児童が参加し、スイカを使ったデモンストレーションを通じヘルメット着用的重要性を学んでいただけたと感じています。

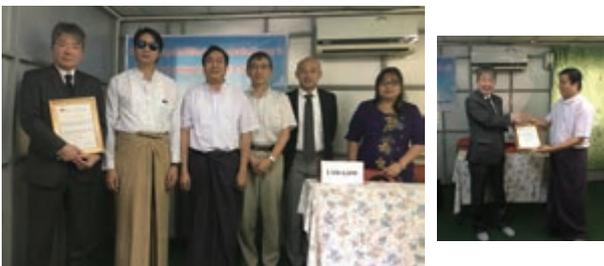
タイでは子供の送り迎えの手段としてバイクが頻繁に使われますので、今回寄贈した1000個のヘルメットを児童に着用してもらい、子供から親へと活動の内容が伝わり、親世代の認識改善も期待しています。会社として、タイの社会問題の改善に今後も取り組んでいきたいと思っております。

藤本曜さん (Sompo Insurance Thailand)



ミャンマー

Myanmar National Association for the Blind (MNAB)



贈呈式では、マスコミ各社から取材を受け、テレビ、新聞で報道されました。助成団体からは、「目の不自由なミャンマー人のために、書籍の点字訳を行っているが、今回の助成の点字表示装置や拡大鏡の導入により、これらの作業の効率が大きく上がり感謝している。これからも目の不自由な人々の支援に積極的に取り組んでいきたい。」とコメントをいただきました。

シンガポール

Singapore Association of the Visually Handicapped

高齢の視覚障害者のデイケアセンターで、リハビリや介護サービスを行うプログラムの費用を助成しました。これによりセンターでは、プログラムを拡大し、スタッフの増員をはかり、より多くの視力障害をもった年配者をケアすることができるとのことです。贈呈式後は、暗い会場で昼食を取る暗闇レストランでの貴重な体験をすることができました。

畑中大右さん (Sompo Insurance Singapore)



第18回損保ジャパン日本興亜福祉財団賞の贈呈式を開催

社会福祉に関する優れた学術文献を表彰する「第18回損保ジャパン日本興亜福祉財団賞」の贈呈式を2017年3月9日に損保ジャパン日本興亜本社ビルで開催しました。

受賞者の衣笠一茂氏（大分大学福祉健康科学部 学部長 教授）が受賞著書の『ソーシャルワークにおける「価値」と「原理」－「実践の科学化」とその論理構造－』についてご自身の研究の過程に触れながらご挨拶されました。受賞者及び著者要旨を財団ホームページに公開していますので、是非ご覧ください。



衣笠氏と二宮理事長



畠山由佳子さんに「研究奨励金」を贈呈しました。
著書名：『子ども虐待在宅ケースの家族支援－「家族維持」を目的とした援助の実態分析－』

《受賞記念講演会とシンポジウムのご案内》

日時：2017年7月1日（土）午後1時～5時
場所：グランドアーク半蔵門（東京都千代田区）
内容：受賞記念講演会とシンポジウム
シンポジウムテーマ：ソーシャルワークと子どもの最善の利益
お申込み：当財団ホームページ <http://www.sjnkwf.org/>

参加者募集中
参加費無料
先着150名様

ご報告 ～財団が後援した団体の取組み～

《助成先の「パンダハウス」増築完成セレモニーに参加しました》



パンダハウスとは、福島県立医大病院と連携し、小児がんなどの難病と闘う子どもとその家族が、病院の近くで過ごす事の出来るサポートハウスです。居室を増やし、より多くのご家族に利用してもらえるよう増築を行い、お披露目のセレモニーに参加してきました。

（2011年度「NPO法人設立資金」助成先）



《第32回 国際アルツハイマー病協会国際会議を後援しました》



当財団の長年の支援先である公益社団法人認知症の人と家族の会が国際アルツハイマー病協会とともに主催し、2017年4月26日から29日に京都で開催され、世界65カ国・地域から約4000人が参加しました。研究発表、ワークショップ、展示発表等をおし、認知症に関する最新の研究成果と認知症ケアを学ぶことができる、認知症に関する世界で最も大規模で重要な会議の一つです。

